

三人展

肥前さが幕末維新博 特別展
—明日への眼差し—
Forward Stroke

2018/9/30sun-11/18sun 佐賀県立美術館

開館時間 = 9:30-18:00 | 会期中無休 | 観覧料 = 一般・大学生1,200円(1,000円) ※ ()内は前売・割引料金

主催: 三人展実行委員会(佐賀県立美術館、佐賀新聞社、サガテレビ)

協力: ミヅマアートギャラリー(池田学展)、スパイラル/株式会社ワコールアートセンター(葉山有樹展)、株式会社NINO(葉山有樹展 会場構成)
カラーキネティクス・ジャパン株式会社(葉山有樹展 会場照明)、株式会社ベトワークス(八谷和彦展)

※高校生以下及び障害者手帳をお持ちの方とその介助者1名は無料

※20名以上の団体、博・美メール会員、Begin会員、サガン鳥栖ドリームバス会員は前売料金

※次の施設のチケット半券、もしくはフリーパスの提示により、割引料金でご覧頂けます。

幕末維新記念館、リアル弘道館、葉隠みらい館、徴古館、大隈重信記念館、佐野常民記念館、佐賀パルンミュージアム、中富記念くすり博物館



池田学《誕生》(部分) 2013-2016
紙にペン、インク、透明水彩 300×400cm 佐賀県立美術館蔵
デジタルアーカイブ: 凸版印刷株式会社
©IKEDA Manabu, Courtesy Mizuma Art Gallery, Tokyo/Singapore



葉山有樹《龍孫皇帝図録》参考作品
磁器 h17.5×d56.9cm
「Yuki Hayama A Patten Odyssey」から引用



八谷和彦《OpenSky Project》2003-2018
写真は、飛行中の《M-02J》
撮影: 五十地輝

池
田
学

葉
山
有
樹

八
谷
和
彦



撮影:高橋宗正



撮影:米倉裕貴

池田学

1973年 佐賀県多久市生まれ。1998年 東京藝術大学美術学部デザイン科を卒業。卒業制作にて紙に丸ペンで描く独自の細密技法を確立した。2000年 同大学院修士課程を修了。2011年より文化庁芸術家在外研修員としてカナダに滞在。2013年よりアメリカで3年にわたり滞在制作を行い、大作《誕生》を完成させた。圧倒的な緻密さと共に、ユニークな感性と想像力溢れる作風によって高い評価を得ている。

葉山有樹

1961年 佐賀県有田町生まれ。1975年 当地の窯元に入社。1985年 佐賀県山内町にて「葉山有樹窯」開窯。東西の古代文明までわけける徹底したテーマの探求と肥前陶磁の伝統に裏打ちされた超人的な技巧が凝縮された個々の作品が注目されてきたが、近年では、空間と時間を演出するインスタレーションに取り組み、童話や小説も手掛けるなど、陶芸家の枠を超えた特異なアーティストとして、海外でも高く評価されている。

八谷和彦

1966年 佐賀県佐賀市生まれ。九州芸術工科大学卒業、その後(株)ペットワークスを設立。電子メールソフト「ポストペット」開発者であり、「風の谷のナウシカ」に登場する架空の飛行具「メーヴェ」の実機を作るプロジェクト「オープンスカイ・プロジェクト」では、自身がテストパイロットもつとめる。現在 東京藝術大学 美術学部准教授。

現代日本を代表する佐賀出身の三人のアーティストの共演。

わずか1mmに満たないペン先から壮大な世界を描き出す画家 池田学
 独自の世界観による細密描写とインスタレーションで魅了する陶芸家 葉山有樹
 ナウシカのメーヴェ実機を生み出した空飛ぶメディアアーティスト 八谷和彦

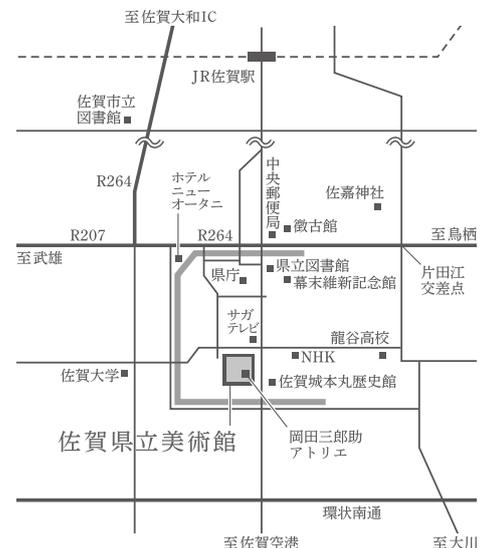
三人の作品に宿る「前向きな意志」、「強い眼差し」により、今を生きる人々にエールをおくる展覧会。
 気鋭のアーティスト三人が魅せる圧巻の新世界を、三人の出身地、ここ佐賀でぜひ体感してください。

● 開催記念クロストーク

「池田学×葉山有樹×八谷和彦」進行: 三瀧末雄(ミヅマアートギャラリーディレクター)

9月30日|日| 13:30-15:00 | 開場13:00 | 佐賀県立美術館ホール

※無料・事前申し込み不要。ただし展覧会チケットもしくは半券が必要です。



- JR佐賀駅から市営バス「博物館前」下車徒歩1分
- 佐賀大和I.C.から車で約20分

お問い合わせ: 三人展実行委員会事務局 TEL.0952-28-2151

● 詳細情報は展覧会公式ホームページでご確認ください

<http://tokushu.saga-s.co.jp/sanninten/>

